



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 ワシントンホテル株式会社 上場取引所 東・名  
コード番号 4691 URL <https://www.washingtonhotel.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 長谷川 太  
問合せ先責任者（役職名） 経理財務部部長（氏名） 津尾 則文（TEL）052(745)9036  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,897	10.2	346	△27.6	237	△39.6	229	△39.7
2024年3月期第1四半期	4,444	15.7	478	△14.4	393	△32.9	380	△34.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	19.02	—
2024年3月期第1四半期	31.53	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	33,166	7,703	23.2
2024年3月期	33,072	7,539	22.8

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 7,703百万円 2024年3月期 7,539百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,841	13.9	1,725	15.8	1,259	34.3	1,183	41.6	97.2

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は【添付資料】7ページ「2(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	12,170,000株	2024年3月期	12,170,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	111,850株	2024年3月期	111,850株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	12,058,150株	2024年3月期1Q	12,058,150株

(注) 2025年3月期1Qの期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式107,000株を含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期貸借対照表関係)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、個人消費は持ち直しに足踏みがみられるものの、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復傾向にあります。一方で、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクに加え、物価上昇や円安が継続しており、先行きについては不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、国内ビジネス需要はWeb会議の普及等デジタル化の影響によりコロナ前に戻らない一方で、国内レジャー及びインバウンドの需要はコロナ前を超える水準になりました。

このような環境下、当社は集客を図るため、WEBを活用した広告宣伝や国内外の旅行代理店及び法人への営業活動を継続強化しました。特に、昨年12月に開設した予約センターは、4月に新入社員研修等の需要を複数事業所で受注するなど効果がでております。また、海外OTA (Online Travel Agent) のプロモーションに積極的に参加したほか、海外の旅行博覧会に出展することによりインバウンドの獲得にも努めました。

設備面においては、ツインルームとコネクティングルームの新設を含む『快眠・入浴・朝食』にこだわった全館リニューアル工事を毎年2事業所程度実施しておりますが、昨年9月・10月に着工した「R&Bホテル大塚駅北口」と「熊本ワシントンホテルプラザ」の工事が本年7月・8月に竣工しました（大塚駅北口は7月6日、熊本は8月1日）。既にリニューアル済みの客室は販売を開始しており、お客様の高評価を得ております。引き続き、今年度は「R&Bホテル京都駅八条口」及び「R&Bホテル梅田東」の全館リニューアル工事に着手し、2025年3月末の竣工を予定しております（京都駅八条口は6月16日、梅田東は7月23日に着工）。また、R&Bホテル博多駅前第2でコネクティングルームを新設したほか、一部事業所から客室照明レベルアップ工事や羽毛布団のデュベスタイルの導入など、品質と使い勝手の向上に取り組んでおります。

なお、当第1四半期累計期間の客室稼働率は、2023年3月に大規模リニューアル工事が完了したR&Bホテル上野広小路を含め関東地区が好調であった一方で、大規模リニューアル工事等による販売客室数減少の影響もあり、前年同期間と同水準である64.3%となりましたが、全事業所においてADR（平均客室販売単価）を高めた結果、RevPAR（販売可能な客室1室あたりの売上）は前期比で約10%上昇しました。また、利益面においては、前期はコロナ一棟貸しによるコスト減があった関係上、今期は減益となりました（一棟貸しは、2023年4月は9事業所、5月は7事業所で実施）。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高4,897,966千円（前年同四半期10.2%増）、営業利益346,586千円（前年同四半期△27.6%）、経常利益237,678千円（前年同四半期△39.6%）、四半期純利益229,352千円（前年同四半期△39.7%）となりました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ94,709千円増加の33,166,758千円となりました。これは主に売掛金が115,857千円減少し、建設仮勘定が174,885千円、投資有価証券が85,540千円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ69,073千円減少の25,463,057千円となりました。これは主に長期借入金が250,000千円減少し、未払金が154,448千円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ163,782千円増加の7,703,700千円となりました。これは利益剰余金が107,700千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月14日公表の業績予想から変更はありません。  
今後、業績予想の修正が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,467,442	6,393,793
売掛金	1,241,417	1,125,560
原材料及び貯蔵品	45,164	44,013
前払費用	507,251	566,438
その他	43,417	43,987
流動資産合計	8,304,695	8,173,794
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,907,195	8,967,200
工具、器具及び備品（純額）	279,848	271,333
土地	5,564,875	5,564,875
リース資産（純額）	4,239,691	4,192,546
建設仮勘定	338,715	513,601
その他（純額）	103,582	101,021
有形固定資産合計	19,433,909	19,610,580
無形固定資産		
電話加入権	21,047	21,047
ソフトウェア	147,426	139,866
その他	19,293	18,983
無形固定資産合計	187,766	179,897
投資その他の資産		
投資有価証券	274,596	360,136
長期貸付金	1,200	1,200
長期前払費用	64,180	62,623
繰延税金資産	350,962	321,503
差入保証金	4,443,675	4,447,030
その他	29,962	28,892
貸倒引当金	△18,900	△18,900
投資その他の資産合計	5,145,676	5,202,485
固定資産合計	24,767,353	24,992,963
資産合計	33,072,048	33,166,758

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,234	156,450
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
リース債務	150,720	151,829
未払金	985,881	1,140,329
未払費用	362,347	382,437
契約負債	39,969	41,750
未払法人税等	30,931	7,732
賞与引当金	92,103	153,549
その他	268,498	277,028
流動負債合計	5,074,685	5,311,107
固定負債		
長期借入金	14,613,000	14,363,000
リース債務	5,079,832	5,041,455
長期末払金	213,403	207,606
株式報酬引当金	44,239	35,464
再評価に係る繰延税金負債	422	422
資産除去債務	439,862	440,315
その他	66,685	63,685
固定負債合計	20,457,445	20,151,949
負債合計	25,532,130	25,463,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,307,624	4,307,624
利益剰余金	4,050,731	4,158,432
自己株式	△84,207	△84,207
株主資本合計	8,374,148	8,481,849
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111,222	167,304
土地再評価差額金	△945,452	△945,452
評価・換算差額等合計	△834,230	△778,148
純資産合計	7,539,918	7,703,700
負債純資産合計	33,072,048	33,166,758

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,444,869	4,897,966
売上原価	3,771,624	4,340,144
売上総利益	673,245	557,821
販売費及び一般管理費	194,501	211,235
営業利益	478,743	346,586
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	3
受取手数料	22,712	1,894
受取保険金	—	1,281
雇用調整助成金	4,945	—
その他	3,915	2,204
営業外収益合計	31,574	5,384
営業外費用		
支払利息	110,142	101,042
支払手数料	1,480	12,924
その他	5,200	325
営業外費用合計	116,822	114,291
経常利益	393,495	237,678
特別損失		
固定資産除却損	5,336	593
その他	245	—
特別損失合計	5,581	593
税引前四半期純利益	387,913	237,085
法人税、住民税及び事業税	7,743	7,732
法人税等合計	7,743	7,732
四半期純利益	380,170	229,352



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

労災事故

2022年4月に発生した労災事故について、当社に対して2023年5月29日付で損害賠償請求の訴訟が提起され、同年6月5日付で札幌地方裁判所より訴状の送達を受けました。(損害賠償請求額は123,167千円)

当社といたしましては、訴訟内容を慎重に検討のうえで適切に対応しております。訴訟の推移によっては、今後の業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点ではその影響を予測するのは困難であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	250,714千円	266,847千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。